

## 地域児童見守りシステムモデル事業の概要

### ① 事業の目的

近年、児童が犯罪に巻き込まれる悲惨な事件が後を絶たず、地域における児童の安全確保が喫緊の課題となっていることから、ICTを活用し、地域における児童見守りシステムモデルの構築・運用・評価等を地方公共団体等に委託し、その成果を全国に普及させ、安心・安全な地域社会の実現を目指す。

### ② 事業の概要

#### (1) 実施主体

地方公共団体又は地方公共団体に加え、NPOや企業等の民間団体等から構成される協議会（16件）。

#### (2) 委託事業の内容

地域において、地方公共団体、NPO、企業等が連携し、電子タグや携帯電話等を活用した児童の安心・安全確保のための情報通信システムの構築（企画、設計及び開発）、運用等を行い、実運用に際しての課題等について、評価・分析することを委託するもの。

ア 対象：小学生

イ 構築するシステム：児童が持つ端末設備（電子タグや携帯電話等）を活用し、児童の登下校時における確認等、児童の安心、安全を確保できるような情報通信システム。

ウ 所要経費：12.2億円（平成18年度補正予算）

#### (3) モデルシステムのイメージ

